

空気中の粉じん濃度の測定結果について  
(小林委員提出資料)

◎一般的な農作業時の粉じん量は以下の通りです（測定法が現在のものとは異なるため参考データとしてご覧ください。）

耕うん	ロータリ	: 0.65~1.59mg/m <sup>3</sup> (高知農技セ 1)
	ロータリ	: 0.87~1.21mg/m <sup>3</sup> (高知農技セ 2)
	プラウ耕	: 57.3mg/m <sup>3</sup> (アメリカ, キャビン窓開け 3)
		: 90mg/m <sup>3</sup> (東ドイツ, キャビン窓開け 4)
	ディスクハロー	: 98.6mg/m <sup>3</sup> (アメリカ, キャビン窓開け 3)

文献

- 1) 澁谷和子, 山崎幸重, 伊吹 哲, 2004, 使用済みロックウールの水田における施用技術, 高知県農業技術センター研究報告 13 号 : 81-87.
- 2) 平成 12 年度 四国農業試験研究成績・計画概要集 -作業技術-, 2000, 47.
- 3) Donald L. Sparks, 2003, Advances in Agronomy, Volume 80:17.
- 4) 三浦恭志郎, 石川文武, 1978, 農作業粉じんの実態 農業機械学会誌 40(2):278-282.

◎表土除去作業時のデータは現在、収集(測定) 中です。

PM4 対応のサンプラの入手が 9 月に入ってからでしたので、柴田科学パーティクルマスモニタ T 3 3 1 で作業時に圃場の周囲 (高さ 1 m) で測定  
表土除去作業(2011.8.26)の圃場周辺の値 (未公開、参考データ)

総粉じん :	101~111μ g /m <sup>3</sup>
PM10 :	87~105
PM7 :	73~101
PM2.5 :	30~51
PM1 :	16~23

麦収穫後の耕うん作業(2011. 4 .8、強風)の圃場中央の値、柴田科学パーティクルマスモニタ T 3 3 1 (農業環境技術研究所 未公表データ、 内部資料)

総粉じん :	867~2598μ g /m <sup>3</sup>
PM10 :	556~1860
PM7 :	375~646
PM2.5 :	15~68
PM1 :	1~2